

令和7年度 学びを通じた地域づくりプラットフォーム構築事業「eポートフォリオ」(潟上市)

地域連携コンソーシアム(テーマ:障害者の生涯学習)

準備期間

市町村訪問、地域連携コンソーシアム委員の委嘱依頼

[県生涯学習課担当]

- 令和6年度障害者の生涯学習支援実態調査や各市町村生涯学習推進計画を基に、該当市町村教育委員会を選定
- 該当市町村教育員会及び連携先部局(地域づくり課と社会福祉課)への事業説明
- コンソーシアム委員の選出と委嘱
- 障害福祉施設長、社会福祉協議会ボランティア担当、特別支援学校の校長、教頭、進路指導主事への事業説明
- 該当市教育委員会と、今後の協議の方向性について情報共有



第2回地域連携コンソーシアムの協議

情報共有

第1回協議

潟上市の実践事例

[県生涯学習課担当]

- 地域連携コンソーシアム委員への出席依頼
- 協議の資料作成、進行、記録

【地域連携コンソーシアムの構成】

- ①潟上市文化スポーツ課
- ②支援学校天王みどり学園
- ③潟上天王つくし苑
- ④潟上市社会福祉協議会
- ⑤潟上市社会福祉課
- ⑥潟上市自治会連合会

【目標】～共生社会の実現に向けて～

- 「かたりあん」を活用して、誰もが参加できる防災教室を開催する。
- 防災教室を通して、公民館職員や地域住民の障害理解を図る。

【第1回協議の意見交換】

- 障害者の生涯学習に関するイメージや思いの共有
 - ・かたりあんでの活動
 - ・文化祭、運動会、クリーンアップ等に、障害のあるなしに関わらず一緒に参加
- 実現可能な障害者の生涯学習の洗い出し
 - ・かたりあんの利用
 - ・公民館講座に障害者が参加
 - ・障害福祉施設職員の協力
 - ・スポーツフェスティバル
 - ・障害のある方のリクエスト講座
 - ・健常者へ考え方の周知(障害理解)

企画会議

第2回協議

[県生涯学習課担当]

- 地域連携コンソーシアム委員への出席依頼
- 協議の資料作成、進行、記録

【第2回協議による役割分担】

- ①潟上市文化スポーツ課
 - ・「かたりあん」職員と打合せ
 - ・防災教室の立案
 - ・講師依頼、打合せ
- ②支援学校天王みどり学園
 - ・青年学級の案内、見学調整
 - ・防災教室の案内・参加者支援
- ③潟上天王つくし苑
 - ・参加者募集・送迎・交流支援
- ④潟上市社会福祉協議会
 - ・食関係のボランティア募集
 - ・参加者交流支援
- ⑤潟上市社会福祉課
 - ・関係者等への周知と協力依頼
 - ・参加者交流支援
- ⑥潟上市自治会連合会
 - ・参加者募集・交流支援

企画実施

連携・協働による活動

[県担当]

- 講座の実施
- 既存の活動の視察
- 委員の参加連絡調整

【実現した講座等】

- 防災教室(食の講座)の開催
- ※講師 生涯学習センター職員
- 天王みどり学園の青年学級視察



天王みどり学園青年学級のeスポーツ講座視察(eスポーツ講師とのつながりづくり)

まとめ

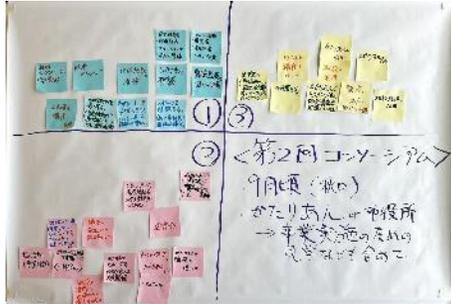
第3回協議

[県・教育事務所各担当]

- オンライン開催の準備
- 委員への出席依頼
- 協議の資料作成、進行、記録

- 活動の振り返り
- 市町村間のノウハウ・事例の共有

令和7年度 学びを通じた地域づくりプラットフォーム構築事業「eポートフォリオ」(潟上市)



「みんなでつくろう！食べて学ぶ災害時に役立つ食事講座」の開催

【協議をして見えてきたこと】

- 市民センター「かたりあん」を活用する
- 楽しみながらできること
- 「できそうなこと」から挑戦

【開催できる講座はないか】

- 楽しいことと思ったら「食べる事」
- 現在計画中の講座を活用できないか
- 避難所になった際の関わり方を学びたい
- 地域でボランティア活動している方に声かけできないか

【目的】

災害時における「食」の備えについて、障がいのある方を含む市民が実践的に学び、調理体験を通じて食べる楽しみを共有しながら地域との交流や生涯学習の機会を広げる。

【日程】 令和7年11月26日(水) 午後1時から

【会場】 市民センター「かたりあん」

【講師】 生涯学習センターのみなさん

- 【内容】
- ・災害時の行動(クイズ形式)
 - ・焼かない焼きそば?!を調理し、食べる
 - ・新聞紙を使って災害時に役立つグッズづくり



みんなでクイズに挑戦中



袋に麺、野菜等を入れて焼きそばを調理中



皿も新聞紙でつくるので洗い物ができません



簡単でおいしい！完食です

【成果】

- ・地域コンソーシアム委員同士のつながり、協力の関係性を構築することができた。
- ・特別支援学校の青年学級視察を実施し、講座の雰囲気を感じることができた。また、eスポーツ講師とつながりができ、R8年度事業への協力を得られることになった。
- ・参加者が災害時の行動や備えについて理解を深め、自分事として捉えることができた。
- ・障がいのある方が楽しく参加し、自分にもできると自信が持てた。
- ・一緒に行動する際の協力の仕方や声かけの仕方を学べた。

【課題】

- ・会場の動線確保や見通しの説明が重要である。(生涯学習センターのブルーインパルスのみなさんの対応が勉強になった)
- ・地域連携、行政・福祉・防災等、関係機関との連携が弱い。
- ・単発の講座で終わらず、地域コンソーシアム委員のみなさんと引き続き連携し、次年度も講座を継続する。
- ・市民センター「かたりあん」に何度も足を運んでもらい、誰でも気軽に訪れ、講座等に参加できる楽しい場所として認識される事が必要である。